

☆この分野では唯一のセミナー!!

第210回ゴム技術シンポジウム

ゴムの衛生問題とその解決策

主催：日本ゴム協会 研究部会 衛生問題研究分科会

協賛：日本ゴム工業会、日本化学会、塩ビ食品衛生協議会、ポリオレフィン等衛生協議会、

(予定) 塩化ビニリデン衛生協議会、繊維学会、マテリアルライフ学会、日本レオロジー学会
日本グローブ工業会、日本調理用手袋協会 (順不同)

ゴムの衛生問題を正確に理解し、その解決の道を模索するために、具体的かつ専門的で充実した講演内容としました。原料ゴム(天然ゴム、クロロプレングム、etc)およびゴム薬品に関する衛生問題、解決策および自主基準の策定について、現状を具体的にお話いただきます。

日時：2015年2月27日(金) 午前9時50分～午後5時

場所：東部ビル5階会議室 東京都港区元赤坂1-5-26 TEL 03 (3401) 2957(代)

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員 23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受け付けます

シニア制度対象者 11,880円(60歳以上の正会員) 会員外 32,400円

受講料には消費税・テキスト代を含みます

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください。(定員40名)

送金方法：現金書留又は銀行振込(三井住友銀行 日比谷支店 普通Na7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振り込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますので予めご了承ください。開催日が近づきましたら開催ご案内を発送いたします。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第210回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階)

FAX 03 (3401) 4143 TEL 03 (3401) 2957 Eメール nakagawa@srij.or.jp)

	演 題	講 師・座 長
9:50~10:00	開会のあいさつ	衛生問題研究分科会主査 河原 成元
10:00~11:00	ゴムの衛生問題と解決策、特にREACHとPL法 ゴム成形品はブルームし易く、加硫促進剤の添加剤がよくブルーム現象を示すが、このブルームによって使用中に皮膚炎症を生じたりする。これらを防ぐことはPL法順守につながるし、またREACHへの関心にもつながる。	【座長】東レ・メディカル(株) 金澤 哲也 (一財)化学物質評価研究機構 菊地 貴子氏
11:00~12:00	食品と接触するゴム製品と有機系配合剤 FDA(米国)やBfR(ドイツ)にリスト化されている有機系ゴム薬品と日本の食品衛生法の比較、乳幼児の使用するゴム製品の規制などについて紹介する。	大内新興化学工業(株) 有我 望氏
12:50~13:50	天然ゴムの脱タンパク質化技術 ラテックスアレルギーの抗原として知られているタンパク質を天然ゴムから除去する技術を紹介する。	【座長】グレースジャパン(株) 林 茂毅 東京工業高等専門学校 物質工学科 准教授 山本 祥正氏
13:50~14:50	環境衛生上問題点と解決方法 ダニによるアレルギーの現状と検査方法、対策方法について紹介する。	(株)明成商会 山本 弘志氏
15:00~16:00	天然ゴムのラテックスアレルギーと精製 天然ゴム製品は、ラテックスアレルギーの問題によって、医用・衛生用品としての使用が制限されている。本講演では、天然ゴムのラテックスアレルギー問題および問題解決策としての精製法の開発に関する研究成果を報告する。	【座長】元・住友ゴム工業(株) 岩田 幸一 長岡技術科学大学 工学部 物質・材料系 准教授 河原 成元氏
16:00~17:00	CRの現状と応用、またグリーンケミストリーとしてのラテックス 環境保護や安全衛生の観点から開発が進むCRラテックスとその用途について概説する。	電気化学工業(株) 藤井 信彦氏
17:00~	閉会のあいさつ	衛生問題研究分科会副主査 岩田 幸一

※プログラムは一部変更になる可能性があります。

☆お申込みは弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。